

杉浦地域医療研究センター 活動報告 2023 年度



京都大学大学院医学研究科

人間健康科学系専攻

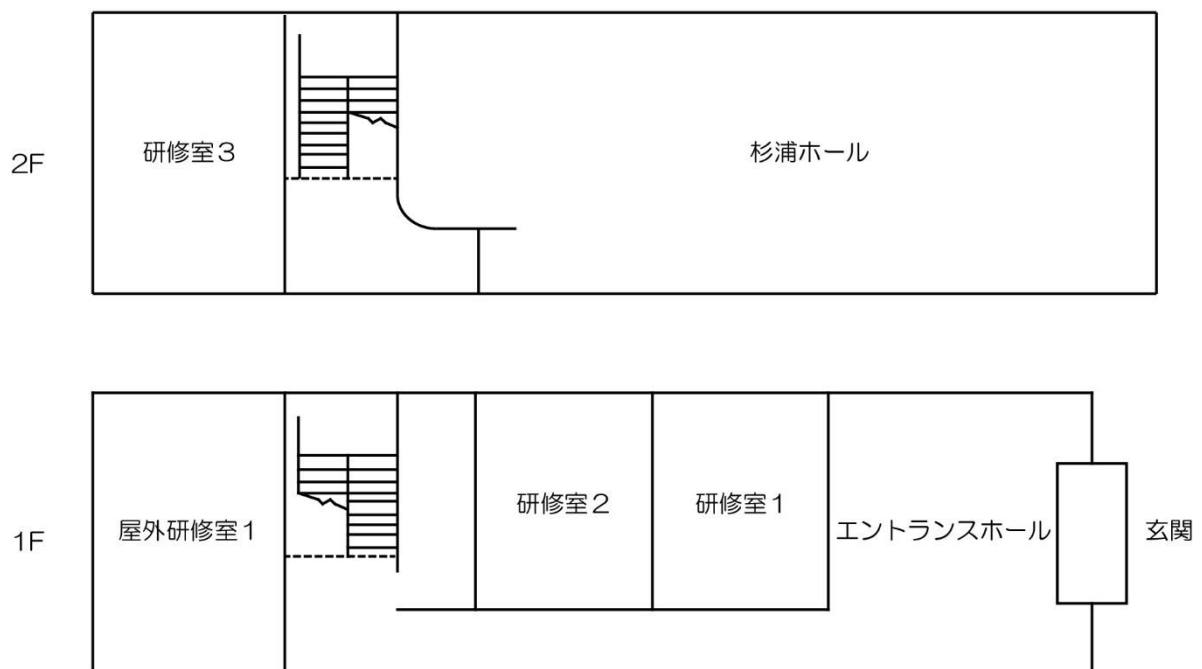
杉浦地域医療研究センター運営委員会



施設概要

- 【名 称】 杉浦地域医療研究センター
 【開設日】 2009 年 6 月 23 日
 【場 所】 京都大学大学院
 医学研究科人間健康科学系専攻
 〒606-8507 京都市左京区
 聖護院川原町 53
 【建物概要】 階数・構造 2 階建鉄骨造
 延床面積 約 500 平方メートル

【設立経緯】健康で文化的な地域社会作りを目指すという人間健康科学系専攻の理念と、薬剤師として地域医療の担い手となり、地域の人々に貢献したいという杉浦広一氏（スギホールディングス株式会社代表取締役会長）、杉浦昭子氏（同代表取締役副社長）両氏の理念が合致し、地域医療に資する教育・研究の推進・発展のため「杉浦地域医療研究センター」が建設され、両氏により寄贈された。



活動実績の概要

本年度（2023 年度）、杉浦地域医療研究センター内の杉浦ホールにおいては以下に示す 268 件の地域医療に関わる講演会、研修会、教育活動などが行われた。前年度までと同様の件数が維持された。研修室 1 は「大規模健康医療データに基づく医療・保健のラーニング・ヘルスシステム」プロジェクトに、研修室 2 は前年度までの文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム「発達症への介入による国民的健康課題の解決」の後継である京都大学大学院医学研究科履修証明プログラム「発達症への介入による国民的健康課題の解決」プロジェクト（ASD project）の研究室として使用された。屋外研修室 1 および研修室 3 については、おのこの 53 件と 143 件の会議や小グループ研修会に利用された。いずれも当専攻の教育・研究活動になくてはならない施設となっている。

2023 年度杉浦ホール利用記録

人数は予約表に記載されていたもので実際とは異なる可能性があります

月	日	会議名等	人数
4 月	4/2	履修証明プログラム講義	15
	4/10	事務室 桑原（林准教授）	
	4/11	授業	
	4/11	授業（全共英語）	
	4/12	授業（全共英語）	
	4/15	周産期セミナー（産婦人科）	50
	4/18	授業	
	4/18	授業（全共英語）	
	4/19	授業（全共英語）	
	4/25	授業	
	4/25	奥野研究室学生セミナー	
	4/25	授業（全共英語）	
	4/26	授業（全共英語）	
5 月	5/2	授業	
	5/2	奥野研究室学生セミナー	
	5/2	授業（全共英語）	
	5/3	授業（全共英語）	
	5/9	授業	
	5/9	奥野研究室学生セミナー	
	5/9	授業（全共英語）	
	5/10	授業（全共英語）	

	5/13	身体運動の計測と可視化研究会	
	5/14	ヘルスケアワーカーキャリア学会	80
	5/16	授業	
	5/16	奥野研究室学生セミナー	
	5/16	授業（全共英語）	
	5/17	授業（全共英語）	
	5/19	杉浦記念財団 セミナー下見	
	5/21	履修証明プログラム 講義	30
	5/23	授業	
	5/23	奥野研究室学生セミナー	
	5/23	授業（全共英語）	
	5/24	授業（全共英語）	
	5/30	授業	
	5/30	奥野研究室学生セミナー	
	5/30	授業（全共英語）	
	5/31	授業（全共英語）	
6 月	6/2	天王寺高校学校訪問	30
	6/4	履修証明プログラム 講義	12
	6/5	清掃（月 1 回）	
	6/6	授業	
	6/6	奥野研究室学生セミナー	
	6/6	授業（全共英語）	
	6/7	授業（全共英語）	
	6/10	産婦人科入局説明会	80
	6/13	授業	
	6/13	奥野研究室学生セミナー	
	6/13	授業（全共英語）	
	6/14	授業（全共英語）	
	6/17	DHIEP Program 講義	10
	6/20	授業	
	6/20	奥野研究室学生セミナー	
	6/20	授業（全共英語）	
	6/21	授業（全共英語）	
	6/21	下見（病・循環器内科）	
	6/23	京都府理学療法士会 事前打ち合わせ	2
	6/24	放射線部主任研修会	

	6/25	京都府理学療法士会 総会	30
	6/27	授業	
	6/27	奥野研究室学生セミナー	
	6/27	授業（全共英語）	
	6/28	授業（全共英語）	
7 月	7/2	履修証明プログラム 講義	15
	7/3	「ビッグデータ医科学特論」 「バイオメディカルデータサイエンス特論」	
	7/4	授業	
	7/4	奥野研究室学生セミナー	
	7/4	授業（全共英語）	
	7/5	授業（全共英語）	
	7/11	授業	
	7/11	奥野研究室学生セミナー	
	7/11	授業（全共英語）	
	7/12	授業（全共英語）	
	7/16	履修証明プログラム 講義	15
	7/18	授業	
	7/18	奥野研究室学生セミナー	
	7/18	授業（全共英語）	
	7/19	授業（全共英語）	
	7/22	DHIEP Program 講義	15
	7/24	セミナー	30
	7/24	打合	
	7/25	授業	
	7/25	奥野研究室学生セミナー	
	7/25	授業（全共英語）	
	7/26	授業（全共英語）	
8 月	8/1	授業	
	8/1	奥野研究室学生セミナー	
	8/1	授業（全共英語）	
	8/2	授業（全共英語）	
	8/3	生化学概論再試験	
	8/4	講演会	
	8/6	履修証明プログラム 講義	15
	8/7	見学（下見）	

	8/8	奥野研究室学生セミナー	
	8/8	仮・人間健康科学Ⅴ準備	
	8/9	人間健康科学Ⅴ	
	8/10	杉浦財団	
	8/15	奥野研究室学生セミナー	
	8/19	教務掛	
	8/20	履修証明プログラム 講義	15
	8/23	教務掛	
	8/25	京都市版 IHEAT シンポジウム（仮）	
	8/29	奥野研究室学生セミナー	
	8/30	京都市版 IHEAT シンポジウム（仮）	80
9 月	9/1	京都市版 IHEAT シンポジウム（仮）	80
	9/3	履修証明プログラム 講義	15
	9/4	杉浦セミナー事前作業	
	9/5	奥野研究室学生セミナー	
	9/7	窓ガラス清掃	
	9/8	杉浦セミナー前日準備	
	9/10	杉浦記念財団健康増進セミナー	
	9/11	杉浦ホール情報コンセント設定変更のため使用禁止	
	9/12	奥野研究室学生セミナー	
	9/14	サイトビジット	15
	9/19	奥野研究室学生セミナー	
	9/22	研修会会場下見	1
	9/26	奥野研究室学生セミナー	
	9/28	会場下見	2
	9/28	会場下見	
	9/29	医療情報部	
	9/30	履修証明プログラム シンポジウム	50
10 月	10/1	受変電設備定期点検（停電）のため使用不可	
	10/3	授業（医療情報システム学）	
	10/3	奥野研究室学生セミナー	
	10/3	授業（全共英語）	
	10/4	授業（全共英語）	
	10/10	授業（医療情報システム学）	
	10/10	奥野研究室学生セミナー	
	10/10	授業（全共英語）	

	10/11	授業（全共英語）	
	10/15	履修証明プログラム 講義	12
	10/17	授業（医療情報システム学）	
	10/17	奥野研究室学生セミナー	
	10/17	授業（全共英語）	
	10/18	授業（全共英語）	
	10/20	全国国立大学医学部附属病院 管理栄養士新人研修（Basic 研修会）	60
	10/24	授業（医療情報システム学）	
	10/24	奥野研究室学生セミナー	
	10/24	授業（全共英語）	
	10/25	授業（全共英語）	
	10/31	授業（医療情報システム学）	
	10/31	奥野研究室学生セミナー	
	10/31	授業（全共英語）	
11 月	11/1	授業（全共英語）	
	11/2	（正面玄関辺りの作業）	
	11/5	履修証明プログラム 講義	12
	11/7	授業（医療情報システム学）	
	11/7	奥野研究室学生セミナー	
	11/7	授業（全共英語）	
	11/8	授業（全共英語）	
	11/12	特色入試	
	11/14	授業（医療情報システム学）	
	11/14	奥野研究室学生セミナー	
	11/14	授業（全共英語）	
	11/15	授業（全共英語）	
	11/17	スギ薬局健康増進セミナー（準備）	
	11/18	スギ薬局健康増進セミナー（準備）	
	11/19	スギ薬局健康増進セミナー	
	11/21	授業（医療情報システム学）	
	11/21	奥野研究室学生セミナー	
	11/21	授業（全共英語）	
	11/22	授業（全共英語）	
	11/28	授業（医療情報システム学）	
	11/28	奥野研究室学生セミナー	

	11/28	授業（全共英語）	
	11/29	授業（全共英語）	
12 月	12/2	総合医療科学コース キャリアパスセミナー	50
	12/3	履修証明プログラム 講義	12
	12/4	打ち合わせ	7
	12/5	授業（医療情報システム学）	
	12/5	奥野研究室学生セミナー	
	12/5	授業（全共英語）	
	12/6	授業（全共英語）	
	12/7	先端理学療法学講座 卒論発表会	
	12/7	事務連絡	
	12/8	学位審査会（木藤：中村担当）	10
	12/8	大阪教育大学付属池田高校来学	50
	12/9	京都精神科作業療法勉強会	50
	12/12	授業（医療情報システム学）	
	12/12	奥野研究室学生セミナー	
	12/12	授業（全共英語）	
	12/12	会場下見	3
	12/13	授業（全共英語）	
	12/14	教務掛	
	12/15	奥野研究室セミナー	
	12/16	患者家族交流会きょうとたんぽぽの会	30
	12/17	履修証明プログラム 講義	12
	12/18	看護コース	60
	12/19	授業（医療情報システム学）	
	12/19	奥野研究室学生セミナー	
	12/19	授業（全共英語）	
	12/20	授業（全共英語）	
	12/22	医療サイバーセキュリティセミナー	50
	12/25	事務連絡	
	12/26	授業（医療情報システム学）	
	12/26	奥野研究室学生セミナー	
	12/26	授業（全共英語）	
	12/27	授業（全共英語）	
	12/28	研究打ち合わせ	10
	12/29	研究打ち合わせ	10

1 月	1/2	授業（医療情報システム学）	
	1/2	奥野研究室学生セミナー	
	1/2	授業（全共英語）	
	1/3	授業（全共英語）	
	1/5	履修証明プログラム e-learning 撮影	5
	1/9	授業（医療情報システム学）	
	1/9	奥野研究室学生セミナー	
	1/9	授業（全共英語）	
	1/10	授業（全共英語）	
	1/11	履修証明プログラム e-learning 撮影	5
	1/12	授業（医療情報システム学）	
	1/12	授業（全共英語）	
	1/15	研究打合せ	10
	1/16	授業（医療情報システム学）	
	1/16	奥野研究室学生セミナー	
	1/16	授業（全共英語）	
	1/17	授業（全共英語）	
	1/17	学位審査予演会	
	1/18	事務連絡	
	1/19	スギ薬局健康増進セミナー（準備）	
	1/20	スギ薬局健康増進セミナー（準備）	
	1/21	スギ薬局健康増進セミナー	
	1/22	博士論文審査の公聴会	
	1/23	授業（医療情報システム学）	
	1/23	奥野研究室学生セミナー	
	1/23	授業（全共英語）	
	1/24	授業（全共英語）	
	1/25	博士課程中間発表会	
	1/26	履修証明プログラム e-learning 撮影	5
	1/28	京都 ACP 研究会地域公開講座	90
	1/29	卒業研究発表会	
	1/30	授業（医療情報システム学）	
	1/30	奥野研究室学生セミナー	
	1/30	授業（全共英語）	
	1/31	授業（全共英語）	
2 月	2/1	修士論文発表会	

	2/2	修士論文発表会	
	2/3	公開講座準備	
	2/3	(仮) 市民公開講座 (準備室・控室として利用)	10
	2/5	修士論文発表会	
	2/6	授業 (医療情報システム学)	
	2/6	奥野研究室学生セミナー	
	2/6	授業 (全共英語)	
	2/6	e-learning 撮影	
	2/8	e-learning 撮影	10
	2/9	教務掛	
	2/10	ヘルスケアキャリア学会ワークショップ	
	2/12	医療 DX コース リトリート	20
	2/13	奥野研究室学生セミナー	
	2/16	職場巡視	
	2/18	保健師課程同窓会	
	2/20	奥野研究室学生セミナー	
	2/21	教務掛 (空調点検)	
	2/26	教務掛	
	2/27	奥野研究室学生セミナー	
3 月	3/1	日本リハビリテーション医学会近畿地方会 会場下見	
	3/2	日本生理人類学会・日本時間生物学会の合同研究会	50
	3/5	奥野研究室学生セミナー	
	3/9	日本リハビリテーション医学会近畿地方会会場設営	
	3/10	日本リハビリテーション医学会近畿地方会	80
	3/12	奥野研究室学生セミナー	
	3/15	黒木教授最終講義	
	3/16	がんと生殖医療研究会	30
	3/19	奥野研究室学生セミナー	
	3/21	岡昌吾教授最終講義準備	
	3/22	岡教授最終講義	
	3/23	日本医療情報学会 関西支部 講演会	100
	3/24	からだのリズムと眠りの教室	
	3/26	奥野研究室学生セミナー	

2023 年度 杉浦地域医療研究スペース（研修室 1） 活動実績報告書

事業名： 大規模健康医療データに基づく医療・保健のラーニング・ヘルスシステム

研究代表者： 福間真悟

研究分担者： 比良野圭太、奥田忠久、錦織桃子

使用スペース： 研修室 1

1. 事業の趣旨と目的

時間と共に変動し、多様化する地域の健康課題を解決するために、大規模健康医療データを活用することが期待される。当研究室では、全国規模の保険者、研究機関、産業界、行政とコンソーシアムを形成し、データとエビデンスに基づき、医療や保健を改善するラーニング・ヘルスシステムの構築を目指している。杉浦地域医療研究室を産官学連携、多分野連携のハブとして活用し、社会の健康課題解決に還元する疫学研究を推進している。

2. 活動実績の概要

日本に特徴的で全国規模で行われている健診制度に着目し、ラーニング・ヘルスシステムの構築を行ってきた。ラーニング・ヘルスシステムにおいては、まずヘルスシステムに蓄積されるレセプト、健診データ等を分析し、健康課題を同定することで、データからナレッジを取得する（Data to Knowledge: D2K）。次に、得られたナレッジに基づき、健康課題を解決するための介入を設計、実装する（Knowledge to Performance: K2P）。さらに、実装した介入を評価し、新たなデータを取得することで継続的な健康課題解決につなげる（Performance to Data: P2D）。これらを通じて、ヘルスシステムを改善する医療者、行政官、産業人のコミュニティが醸成される。

2023 年度に、具体的には、杉浦地域医療研究室にて以下の活動を推進した。

① 自治体、保険者との連携

厚生労働省 予防と健康づくりに関する大規模実証事業 効果的な特定健診と特定保健指導に関する実証事業（研究責任者：福間真悟）では、参加する自治体（北海道小樽市）、保険者（北海道国保連合会、全国土木建築国民健康保険組合）とコンソーシアムを形成し、大規模な健康医療データベース上で、行動経済学のナッジを活用し、適切な医療受診を促す行動変容介入を設計し、実装した。データベース上で行うランダム化比較試験によって、リアルワールドにおける介入評価を行った。データベースの分析から得られた結果に基づき介入を社会実装するために、産学連携を行い、共同研究機関と杉浦地域医療研究室で継続的な打ち合わせを行った。

世界最大規模の保険者である全国協会けんぽ（被保険者数 4000 万人）との共同研究も杉浦地域医療研究室で実施し、日本の予防や医療に関する課題について検討会を開催し、保険者が実施する保健事業への実装を話し合った。

② 多職種、多領域との連携

杉浦地域医療研究室をハブとして。共同研究にて多分野で連携し、多様な臨床領域の課題解決に取り組んだ。循環器内科学とは、心血管病のリスク因子の分析、心血管病治療の評価に関するデータベース研究を行った。腎臓内科学とは、慢性腎臓病と癌の関係（オンコネフロロジー）、腎臓病進行リスクのデータベース研究について共同研究を行った。国立循環器病センターとは心血管病リスクを改善するための生活指導介入（Lifelong Health Support 10）の均てん化と地域保健事業への実装に関する共同研究を行った。保健師、栄養士に国立循環器病センターで蓄積された生活指導介入のノウハウを提供するセミナーを杉浦地域医療研究室で実施した。

2023 年度 杉浦地域医療研究スペース（研修室2） 活動実績報告書

事業名： 京都大学大学院医学研究科履修証明プログラム「発達症への介入による国民的健康課題の解決」（ASD project）

研究代表者： 義村 さや香

使用スペース： 研修室2

1. 事業の趣旨と目的

近年、不登校・ひきこもり、依存症、うつ、アブセンティズム・プレゼンティズムなどのメンタルヘルスの問題が年齢層を問わず深刻な影響を社会にもたらしている。その大きな背景として自閉スペクトラム症（ASD）をはじめとする発達症（発達障害）が注目されており、国民的健康課題の解決には発達症への介入が不可欠であることが明らかになりつつある。

発達症の場合、従来の精神疾患と異なり、有効な支援や介入を実施する際、医師による診療だけでは不十分であり、看護師・保健師、薬剤師、作業療法士、養護教諭、ケースワーカー、公認心理師など医療関連職をはじめとする多職種が連携し、日常生活に密着した支援を行うことが不可欠である。本事業では、発達症にかかわる専門職の受講生を募り、2 年間 120 時間の授業を行い、高度なエキスパートへと育成することにより、各地域で要求に応じたネットワークを形成し、発達症の子供から成人を対象に適切な支援・介入をコーディネートできる人材の養成を目的とする。

2. 活動実績の概要

2022 年度で文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラムによる 5 年間の補助期間が終了したため、2023 年度より自立した事業として活動を継続することとなった。履修証明プログラムを有料化するとともに、新たに発達症に関する基礎的な知識を学習する e-learning プログラム（Basic course）事業を立ち上げた。

履修証明プログラムに関しては、従前と同様に新たな年度の受講生（第 5 期生）を公募した。10 名の定員に対して 10 名の応募があり、職種や専門性を考慮して 8 名を選抜した。受講生の職種は、医師、看護師、保健師、公認心理師、特別支援学校教諭、高校教諭、保育士、および学校教諭の資格を持つ発達症分野の研究者であった。当初の計画通り、1 年次 68 時間（第 5 期生が受講）、2 年次 52 時間（前年度に選抜した第 4 期生が受講）の計 120 時間の授業を実施した。2 年次プログラム受講生 11 名が修了論文作成を経て全過程を修了し、自閉スペクトラム症高度専門支援者の称号を授与された。これにより、自閉スペクトラム症高度専門支援者は累計 39 名となった。現在、京都大学・受講生・修了生が多職種ネットワークを形成して、発達症の多様な課題に応じた連携体制が組めるようになりつつある。連携を推進するための援助活動も継続する予定である。

9月には、2022 年度に修了した第 3 期生が本プログラムの趣旨にかなった活動を展開できている事を確認するため、フォローアップシンポジウムを開催した。このシンポジウムでは、第 3 期修了生が修了後も定期的に研修会を行って研鑽を積んでいること、本プログラムで高めた技能をもとに、多職種が連携する支援や、職場や地域での啓発活動等を行っていることが報告された。加えて、所属機関上司の評価により、所属機関への波及効果も認められることが明らかとなった。これらより、本プログラムの趣旨が着実に実現されていると考えられた。

Basic course は全 8 科目 24 時間で構成されているが、今後の事業拡大を見据えてコンテンツの拡充を計画している。2023 年度は文部科学省の教員講習開設事業費等補助金事業に採択され、杉浦地域医療研究センターにて、発達症の理解を深めること、教員自身のセルフケアを促進することを目的としたビデオコンテンツの撮影を行った。これにより作成されたコンテンツは 2024 年度始動の文部科学省による教員研修プラットフォームに掲載予定である。



京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町5-3

TEL : 075-751-3901

https://www.med.kyoto-u.ac.jp/grad_school/ghs/